



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JANUARY, 1987. IV - 7



1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」— Deeds Not Words Shall Speak — IP
 「心を一つにチャレンジ」 — For One And For All Through The Y'S Dom — RD
 「明日に向かって力強く前進しよう」 — Onward Tomorrow — DG
 「Y'S Men! Be Romantic」 — P

Thought for the Month

We have come to share in Christ if we hold
 firmly till the end the confidence we had at first.
 (HEBREWS 3 : 14)

もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるな
 らば、わたしたちはキリストにあずかる者となるのであ
 る。
 (ヘブル人への手紙 第3章14節)

今月の聖句によせて

新しい年を迎えるごとに新鮮な新たな決意をもって計画を立て前進を再び始めるものです。

イエス様に従うべく堅い決意に燃えて受洗しキリスト者としての人生を始めますが、信仰の堅持の難しさは申すまでもありません。ヘブル書の著者はこの聖句の前に兄弟たちよ「きよう」といううちに日々互いに励まし合いなさいと奨めており、またヘブル書全体を通して事細かく厳粛な警告を私達に与えているのです。それは私達がキリストと運命を共にするものになるためであるということです。

それ故私達は始めの確信をキリスト再臨まで罪の誘惑に打ちかち確かな状態でしっかりと握っておれというこの奨励に力づけられ、今年一年こそこの聖句に忠実に歩みたいものと思います。

福永嘉彦

EMPHASIS THIS MONTH : INTERNATIONAL Youth Activities
 JAPAN Cristian Emphasis



A Merry Xmas and A Happy New Year The Y's men's Club of OSAKA CENTENNIAL Dec., '86

THE CENTENNIAL

今月のことば

キリスト教強調月間にちなんで

田中 穰 二

この頃、平和と云う言葉が何処でもよく使われる。平和を願わない人は誰もいないから当然かも知れないが、安易に使われ過ぎていることはいなめないし、平和に対する考え方も一致しているわけではない。平和という言葉が流行語になればなる程、世界の争乱や憎しみは、ますます深刻さを増しているのが現実である。

東洋の思想では、争いの原因となる人間の欲望や憎しみをなくす方法として、自然と融合するところに平和があると考えるのに対して、キリスト教では、人間はどこまでいっても人間で、憎しみ、嫉妬、争いからの解放は神が与えたまう平和によらねば実現しないと考える。本当の平和はキリストによる十字架の平和によってのみ実現されるもので、人間の力ぐらいではどうにもならない

と、人間の現実をきびしくみるのである。

キリスト教はよく愛の宗教だと云われるが、これも夢のような甘い愛ではなく、"私たちが愛し合うのは、神がまず私たちを愛して下さったからである" (ヨハネ第1の手紙4章19節) という聖句が示すように、神の働きかけによって起こる愛を基礎にしている。

1980年に創立100年を迎えた日本のYMCAは、1973年の世界同盟総会で採択されたカンパラ原則にもとづいて、日本YMCA綱領と基本原則を採択しこれを基礎にして新しい世紀の歩みをはじめているが、一度これらの文章を読まれることによって、YMCA理解、キリスト教理解を深めていただきたい。

NEWS IN BRIEF

センテニアルクリスマス例会 12月17日(木) PM6:30~8:30 於大阪クリスチャン・センター



讚美礼拝でメッセージ
黒田君



聖書朗読 藤吉コメット
(鈴木君のお孫さん)



即席クワイア、
谷川メネット、正司、杉浦、
福永、村田の各君



留学生のゲストと
多田姉、黒田君にかこまれて
左から 朴君、フランシス君、風天飛夢君と
その友達石村さん



祝会の司会 鈴木君



クリスマス・プレゼントに
ご満悦(?)のコメット達と
久しぶりの山中圭ちゃん

☆メネットの出席者：鈴木美藤メネット、藤吉メネット、
杉本メネット、谷川メネット、
中村メネット、眞島メネット

HAPPY BIRTHDAY

- 掛 江 康 一 君 1・1 (1951)
ハッピーネス (幸福)
- 中 村 幸 枝 メネット 1・1
ハッピーネス (幸福)
- 福 永 嘉 彦 君 1・9 (1926)
日本水仙 (純粋な心)
- 松 添 玲 子 メネット 1・21
パフィオデイルム (お茶目な魅力)
- 松 本 常 晃 君 1・6 (1954)
シカゴピース (灼熱の恋)
- 松 本 有 公 子 メネット 1・15
デントロビウム (強烈な個性)
- 眞 島 直 子 メネット 1・3
ゴールデンマスターピース (愛の喜び)

Statistics (統計) 出席に心がけよう

12月例会出席状況 (在籍会員38名)		ニコニコ 献 金	B F ポイント	ファンド 12月末累計
メ ン	20名	30,000円	/	274,286円
出席率	52%			
メネット	5名			
コメット	6名			
ヴィジタース	5名			
計	36名	大阪YMCA クリスマス 献金へ	累計 切手 14,021 P 現金 65,520 P	

Hello!

大阪YMCA日本語学校の留学生に誌面インタビューしました。(その3)

YMCAサービス委員長 田中 穂二

- | | |
|---|-----------------|
| ① 自己紹介
国、年齢、性別、日本に来て何年になるか
配偶者の有無など | ③ 日本に来てうれしかったこと |
| ② 日本に来て困ったこと | ④ 日本人をどう思うか |
| | ⑤ YMCAに何を期待するか |
| | ⑥ 日本語学習の目的 |

VENUS V. DAYRIT



- ① フィリピン。24才。独身。日本に来て1年2カ月になります。
- ② 日本語は大へんむずかしくて、どうにか言葉の意味が分かるようになるまで6カ月ぐらいかかりました。今でも日本人との会話で分からない事がたくさんあります。日本に来て困った事は食べ物の味つけかたが、私の国と全然ちがうことです。
- ③ 雪を初めて見られたこと、そしてYMCAのプログラムでスキーができた事でした。
- ④ 日本人は親切で私のへたな日本語でも良く分かるうとしてくれます。
- ⑤ YMCAの勉強で漢字や文法をなっていますが、まず会話をもっとおしえてほしいと思います。
- ⑥ 私の母が日本で美容院をしているので私も日本語をなったら美容の専門学校に入るつもりです。

劉 泰均 (ゆう てい ぎゆん)



- ① 韓国の釜山。29才。男性。日本に来て1年と少しになりました。独身。
- ② 天候です。日本の特に大阪は、夏、とても蒸し暑いです。私は、夏に引越したことがありますが、とても大変でした。
- ③ 私はYMCAに日本語を学びに来ましたが、YMCAには、いろんな国から、たくさんの学生が集まってきたので、その人達と接することによって、日本語以外のたくさんのお話を学ぶことができました。そのことがとても嬉しいです。
- ④ 日本人は、買い物をしたり、食事をしたりする時に、自分がお金を払う側であっても、心を込めて、「ありがとう。」とか、「どうも、ごちそう様でした。」とか言います。相手のことを考えることができ、親切だと思います。それから、他の国より集団意識が強いと思います。先輩と後輩とのつながり等がとても深いですね。それが良いと思います。
- ⑤ せっかくいろんな国の人が勉強をしに来ているので、それぞれの国の行事を組むとおもしろいと思います。例えば、今週は韓国週間、来週はネパール週間という風にしてはどうでしょうか。
- ⑥ 日本の大学院に進学して、その後日本と関係のある仕事をしたいと思っています。そのために勉強をしています。

プバン ダス タムラカール



- ① 今年の2月にネパールから来ました。25才のダンサーです。独身。
- ② 日本に着いて初めに困った物は衣服です。ネパールの服と、日本の服の形が随分違うので困りました。でも、最近では、ネパールの人々の服も、日本の物と似て来ました。
- ③ いろんな事、特に日本の文化や習慣を学べた事です。先日は、真千家の淡交会に招かれて、お茶会にも行きました。生まれて初めて、お抹茶をいただきました。とても、おいしかったです。又、自分でもお茶を実際に点ててみました。それから、もうひとつとても嬉しいのは、YMCAで世界各国の国際的な友達と、とてもたくさんできた事です。
- ④ 日本人は親切です。前に、福井県に、ネパールのダンスを見せるために行きましたが、いなかの人々は、特に親切でした。
- ⑤ 留学のために来ている学生達を助けていただきたいです。それから、もうひとつ、YMCAを、今以上にもっと世界に広めてもらいたいです。
- ⑥ ネパールで通訳をしていましたので、もっと丁寧な言葉が使える様になりたくて、日本語を勉強しています。また、将来貿易会社に勤めるかもしれないので、その時に、役立つだろうと思います。

YMCA TODAY

「グッドバイ・ロングラップ」

豊崎 博光写真展

「グッドバイ・ロングラップ」は1978年4月以来、マーシャル群島の被爆者の取材を続けてきた著者が、1985年4月、ロングラップを訪れ、島民のメジャト島への移住の模様を中心に撮影編集した珍しい写真集である。どの写真にも原爆放射能の恐ろしさが漂っている。(アサヒカメラ9月号)

期間 1月12日(初)~17日(出)

会場 YMCA国際社会奉仕センター

日本語科ディレクター 松田浩志先生 著書刊行

大阪YMCA専任講師松田浩志先生は長年の英語教育にたずさわっておられますが、このたび「知っている単語で英語表現」をYMCA出版から刊行されました。

英語はむずかしいものだと思ひ込みすぎている人には、わかりやすく、やさしい単語で多くの表現ができ、有意義な書物です。ぜひ一度ごらん下さい。(980円)

世界の国、生活と文化シリーズ

第23回目をむかえた世界の国・生活と文化シリーズはアジア諸国の一つ「マレーシア」にスポットをあてました。

関西在住のマレーシア人、サラワク・マレーシア交流会の人たちなどが今準備にとりかかっています。

マレーシアのうた、おどり、食事、観光だけにとどまらず、現実のマレーシアの諸問題についても語り合うひとときをもちます。ぜひ、多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時 1月23日(金) 午後6時30分

会場 大阪YMCA国際文化センター 9階

参加費 700円

THE CENTENNIAL

IBC WORLD NETWORK



BROTHERHOOD FUND RESULTS

Total contributions to the Brotherhood Fund reached a new high: US\$128,829.32. Japan won the awards for the greatest stamp-point increase (over 3 million) and the highest average points per club (186,558). Norrköping, Sweden had the largest contributions (1,047,545 points) closely followed by Atami and Tokyo, Japan. Sao Paulo-Center, Brasil contributed the most stamps (501,100 points) followed by Norrköping (433,865). Japan led the Alf Reynolds awards for points per member: 11 awards for 10,000 points, 41 for 5,000 and 10 for 2,000 while Pacific Southwest, their traditional rivals, had 12 awards for 10,000 points, 10 for 5,000 and 15 for 2,000.

昨年のB Fの結果では日本は切手のポイントで前年度比最高の伸びを記録し、また各クラブ当りの平均ポイントで最高点でした。

最近の「ワイズメンズ・ワールド誌」から：



BOSTON

Boston is Heaven

「BOSTON IS HEAVEN IN '87」
The U.S.A. and Canadian Areas will share a joint convention in 1987. Why, you ask?

1987年のU.S.エリア大会はアメリカのボストンです。今回からアメリカ・エリアとカナダ・エリアが合同で大会をやります。参加しませんか。

Honolulu, Hawaii - The Nuanuu Y's Men's Club is co-ed club numbering 36 members who are extremely active, with at least 1 service project every month - - assisting the YMCA with its membership enrollment, giving leadership at a school carnival or a hospital fair involving patients, raising funds for Time of Fast (they doubled their contribution this year), providing a subsidy for «Y» leaders to take training in California, and much more. We can learn from their approach, still strong after 22 years in vibrant existence.

ハワイのブラザー、ヌアヌ・クラブの記事が載っていました。ハワイでは一番活動的で毎月YMCAのための奉仕活動をやっているクラブだ、と紹介しています。

(谷川)

CENTENNIAL EYE

スローガン

小林喜自夫

毎年のことなのだが、新年を迎えるにあたって今年こそどうありたい、こうしようという願いをこめて会社でも個人でも〇〇年度スローガンや方針といった目標掲げる。「本質の追求」「創造性の発揮」「自分の位置を知り力量の向上を」「明瞭簡潔をモットーに」「気迫一番」等々昨年に年始まりをして目にしただけでもこうであった。折りしも円高不況の真只中、三角マナコでヘトヘトになって昨年も暮れた。グチも言わずにわれわれの仲間、つくる笑顔もいじらしく1986年は暮れてしまった。

今春はどんなスローガンが出るのやらおおいに気のかかる所だ。週単位や月単位の小規模なスローガンと違って年間を通じてのスローガンが作られるのであるから問題意識は十分に反映されるにちがいない。年の暮になって再度のコストダウンを要請された中小企業の社長サン、「あの仕事は東南アジアでやることになりました悪しからず！」と言ひ渡された営業本部長サン、「皆んながおなかを空かしているのにあんたのところへ仕事が増山いってますな」と嫌味を言われた工場長サン。そして年の暮の新聞は来年はもっと凄惨な年になるであろうと無気味な境遇の到来を予告するみたいだったし、全国の中小企業の社長サン達は恐れおののき乍らともかくにも、いよいよ1987年のである。

さて、そこで今年度のスローガンなのだが、わが日本国を代表する大企業連のスローガンは優雅でしかも威風堂々としていて大股で行進しているようなものでなければ我々は承知できない。この時期、我々をホッとさせてくれるものでなければいけないような気がするが、中小企業のそれは中小企業としての風

格？ というものがあって決して高ぶらず、謙虚であって、そうかといって怖じけず、しずかに唄いあげたものが多い。

今までは「ガンバレ、ガンバレ」であり、「モット〇〇しよう」といった命令形のものだったが今年のはそうはいかない。人々が気が気ではない時にラップ調ではどうにも具合が悪い。テレクさいし、恥しいし、第一ピンとこない。今年のは「バスに乗せ続けてモラワナクチャー」という自分自身に対するつぶやきのようなものであり、「何が何でも勝たねばならぬ」と一人さびしく歌う演歌調でない実感に伴わない。

私達中小企業は微力ながらも設備投資をし、一生懸命ガムシヤラに働いてきたのだが世界中からは働きすぎだと非難され、近隣諸国からは追いあげられ、摩擦解消のため海外へどんどん仕事はもって行かれるわけで、丁度最終ホールに近づいてくるのにスコアーをくずして、しょげているゴルファーみたいなものだ。そして案外、人が思う程生活は楽でないのだからもうひとふんばり一生懸命働いて頑張ろうというのが実情なのだ。

かくして、社長サン達はスタッフを集め今年にはネバナラヌ式の「〇〇〇〇〇〇」で行こうとカスレク声でつぶやけば部長サン、課長サンの「なるほど、ごもつともでございます」となってメテク決まるはこびとなる。一旦スローガンが決まってしまうと、全員「それ」を目標に働けばよい。あとは一切、めんどうくさい事は考えなくて済む。スローガンとの相対的關係が物事を判断すればいいだけなのだ。

ところで、皆さん方の職場でのスローガンは如何なるものでしょうか。

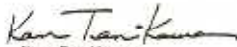
International

1986-1987 Y's Men International
"Time of Fast" Theme: Underprivileged Children

At the International Council Meeting held at Aarhus, Denmark July 17-21, 1986, "Underprivileged Children" was again chosen as the Time of Fast project theme for 1986-87.

Panama, Senegal, Peru and India were determined as project sites this year. Peru and India are new. Our International goal this year is US\$100,000 - same as last year. Last year, with your area's strong support, we came very close to the goal. This year let's reach that goal!

Many thanks for your support.



Ken Tanikawa
International Service Director
Time of Fast 1986-87

日本区：理事通信

日本区現勢

日本区現勢は、7月1日付国際半年報によりますと2,247名でスタートしたものが、11月30日現在は、高松さぬき(8月31日)、TIFY'S(10月18日)、足利(10月19日)、大阪西(10月26日)の新クラブ誕生によって、2,315名になりました。

12月7日には京都プリンスクラブが誕生致します。他に、長浜クラブ(仮称 滋賀)が1987年2月15日に設立総会、5月10日チャーターナイトを決定しました。又、熊本クラブによる新クラブ設立総会が、1987年2月に、5月にチャーターナイトが予定されています。そして福岡中央、北九州、高松さぬき、京都クラブ、東海クラブ、熱海と熱海グローリーが合同、埼玉クラブの方々が続々と新クラブ作りの機運を盛り上げております。

NOTES from ALL OVER

日本区：事業通信

◎お年玉年賀葉書4等当選くじの取り扱いについて

換金レートの下落をカバーする方策として、前年度初の試みとしてクラブでの換金が認められました。今年度もアジア地域フィラテリーの福尾ワイズとの話し合いの結果、換金レートの下落が予想されるとの事で、前年度と同様に現物送付と現金送金の2本立てで行いたく思います。4等当選くじは80円の切手ですが、現金送金の場合は75円で当選くじ1枚と認めます。各クラブで換金されて、差額はクラブファンド等、各クラブでご使用下さい。

前年度は、現物送付分(年賀葉書)が2万1千枚、現金送付分が7千枚で75クラブが参加。換金価格は、206万4,135円でした。

現物送付分(年賀葉書)の取り扱いについて
第1次締切日→1987年2月5日必着、第2次締切日→1987年2月20日必着。

○各クラブご送付いただく時に、当りクジの番号を揃えていただくようご協力の程お願い致します。同時に総数をご確認の上、適宜の用紙にご記入、同封下さい。例会日等の都合で、第1次・第2次と分けてご送付下さっても結構ですが、有利に換金するためには、出来るだけ第1次にお送り下さい。

送り先

〒600 京都市下京区西洞院通り仏光寺下ル 下村謙一郎宛
従来までの福尾ワイズ宛から今年度は下村宛に変わりましたのでご注意ください。

当選番号の切り取り方は、点線部分が切り取り線です。郵便番号枠を必ず残す位置で切って下さい。

おとなりさん

彦根シャトー創立5周年記念 長浜YMCA設立総会へのご案内

○昭和62年2月15日(日)

○北ビワコホテル住文

登録受付 13:00~14:00

設立総会 14:00~15:00

(休憩) 15分間

懇親パーティー 15:15~16:30

登録費 7,000円

申込み〆切日 62年1月20日(必着)

参加申込送付先

住所 長浜市勝町123-25

宛 松宮会計事務所

TEL 0749-62-3961

FAX 0749-62-3963

備考：宿泊ご希望の方は、ご連絡賜ればご手配申し上げます。

GOINGS & COMINGS

☆安福又四郎君

入院して、加療の効よく、現在はご自宅にてリハビリを続けながら健康の回復を図っている由。

段々快方に向っておられるとのこととあります。お元気な姿をお待ちしています。

☆山田道子メネット

長い間の加療で一度ご自宅で健康管理をなさっていたところ、又ご入院された由。

山田メネットの明るい笑顔をお待ちしております。

— 神のお力が加わりますように —

CALENDER OF EVENTS

1987年 中西部新年合同例会

合同例会がセンテナルの第一例会です。

第二例会 1月28日(木) PM 6:30~8:30

国際奉仕センター

日時：1987年1月18日(日)

Bulletin Board

12月号の訂正とお詫び(毎度すみません)

今月の聖句によせて

①下から3行目

主の十字架の死に打勝たれた

②下から2行目

讚美し証しするところにこそ

③下から2行目

クリスマスの真の意味とこの曲

☆長崎クラブの山中さんよりクリスマスパーティに祝電をいただきました。

会場：千里阪急ホテル(千里中央駅から東へ徒歩5分)

受付：午後5時

開会：5時30分、閉会8時(1部：合同例会、2部：祝宴)

会費：メン、メネット 8,000円

コメント中・高生 5,000円/小人以下無料

ホストクラブ 大阪千里クラブ



「平和とは」

掛江 康一

「平和とは一体なにか」を考えると、まず現代は平和なのだろうかということを検証してみる必要があるように思われます。

○世界は第二次世界大戦後平和であったか。

あの「平和の本」は「現代は決して平和ではない」というところから出発しています。私たちの現実はまだにそうであり、一応、物が豊かにあり周りに戦火のない平和そうな月本にいますが、実は非常に不安定で危険な状態に置かれているのです。また、第二次世界大戦終了後現在までに、数え切れないほどの戦争が世界の各地で起きています。すぐ名前が挙げられる戦争だけでも朝鮮動乱、ベトナム戦争、中東戦争、アフガニスタン侵攻、フォークランド紛争、南アフリカ動乱、イラン・イラク戦争、東西ベイルート紛争、等々たくさんあります。このうちいくつかは現在も継続中です。このように目を外国に転じれば戦争は現在進行形であり、今も毎日多くの人が犠牲になっているのです。

ここで一つのケースを取り上げてみましょう。(ニューズウィーク 5月1日号から)

今年4月15日アメリカ合衆国がリビア(アフリカ大陸、エジプトの西隣)のトリポリとベンガジを爆撃しました。いわゆるリビア侵攻です。11分間の空爆で米空軍機1機と乗組員、そしてリビア人37名が死亡しました。アメリカは数年来リビアのテロに悩んでおり、レーガン大統領は「せざるをえなかったことをしたまでだ」と言っています。ニューズウィークの世論調査では「多くのアメリカ人にとって胸のすくような一撃だった」との結果が出ています。アメリカ国民の多くが他国を空爆することを容認したのです。ニューズウィークの記者はしかし次のように続けます。「しかし力の応酬はどこまでエスカレートし、その為にどんな犠牲を払うことになるのか」。事実、その後何件もリビアによる報復テロがおきています。武力による解決は本当の解決になりません。一応解決したとしても、どんなに多くの犠牲が払われることでしょう。

○なぜ人は戦いをやめないのか。

「ある国の一人一人はよい人なのに、なぜそのような国と国との間に争いがおきるのだろうか？」とは、よく言われることですが、考えてみると、人と人とは利害が対立しない限りよき隣人でいられるようです。一人一人の人

間が望んでいるのは自分もしくは自分が属する集団の幸福だけではないでしょうか。自分の幸せ、自分の財産、自分の命を守り拡大しようとするとき他人を傷つけるのが人間であり、そこには、我と彼とは別な存在であるという基本姿勢があります。

○平和な世界を実現するには。

平和な世界とはどんな世界なのでしょう。私は、弱い立場の人々が、その生きる場所を与えられ堂々と生きてゆける世界だと思います。お互いが大事にされ、賜物をのぼし用いられる世界です。強いものほっと都合がよいように平穏であることが平和ではないと思います。このように考えると平和な世界を実現することは、すなわち「共に生きる」世界を実現することなのです。私たちは平和な世界を築こうとする意志を持ち、どんな状況においてもその意志を持ち続け、その意志に基づいて行動することが求められています。

しかし、このことが大変困難であることは歴史が証明しています。私たち一人一人が何かしたって、という無力感もあります。でも視点を変えてみて下さい。歴史上の記録として残っていないけれど、「平和への意志」が、それも一人一人の小さな意志が集まって争いをとめたことは過去の世界で数限りなくあったはずで、だから私たち一人一人の力は弱くてもそれぞれ出来ることをしなければなりません。

○敵意を乗り越えること。

さて、私たちは極限の状況に置かれたとき、または、相手に対する敵意を持っているとき、果して平和への意志を持ち続け、その意志に基づいて行動できるでしょうか。それは私たちの意志によってではなく、イエス様の十字架の愛によってのみ可能になるのです。エペソ人への手紙第2章16節に「十字架によって、2つのものを1つのからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまっただのである」とあります。私たちが罪許されて神の前に立てるのは、イエス様の十字架がそこにあるからです。その十字架は私たちの敵意をその上にかけて滅ぼしてしまったとパウロは断言しています。この言葉の重みを身に受けて、私たちはキリスト者として、決して平和ではないこの現代で「平和を作り出すもの」でありたいと思います。



「朝の祈り」 林 竹治郎画 第一回文展入選作 (1904年)
子らに残すことはひとつ わが家は 朝な夕なに祈りする家
北海道道立美術館蔵
日本キリスト教救済協会複製

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

☆期せずして、THE YMCA, IN TOUCH, センテナリアルブリテンの12月号にそってアムネスティのクリスマスカードが載った。「人間の発想は似たようなところがあるんだね」と云ったら、国際奉仕センターの齊藤さん(IN TOUCHの編集者)いわく、「造り主はひとりですよ!!」。

☆大阪YMCA協力会員登録をお考え下さい。

当クラブでは現在24名の方が協力会員です。協力会員は年会費2万円以上の納入により登録します。詳細は国際社会奉仕センター真島主事まで。

☆今月もお正月にブリテンがお手許に届くよう早目に編集いたしました。Y'Sでは下半期に入る訳ですが暦の上では大きな区切りです。今年もブリテンをどうぞよろしく。

(ブリテン 村田良夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
担当 TEL 0797-32-9204